

小中連携に関する小学校教員意識への 研修と経験年数の及ぼす影響

小泉 仁(東京家政大学)

石田 雅近(清泉女子大学) 加納 幹雄(金沢大学)

古家 貴雄(山梨大学) 伊東 弥香(東海大学)

中村 信子(立教女学院短期大学)

長沼 君主(東京外国語大学)

研究目的

多種・多様な小学校英語活動

小学校の「外国語活動」として、ひとつの方向性を見いだすことができるのか

必修化に備えて(あたって)の小・中連携

小学校での「外国語活動」を前提として中学校の英語科教育を考える必要性



連携を進める上で重要な要素であると思われる
小学校と中学校の教員の意識の違いを調査

小中連携教員意識調査

「小学校英語活動と中学校英語の連携についての総合的研究
－研修の実態と教員の意識調査－」(平成19年度～平成21年度科学研究助成)

1. 小学校教員・中学校英語科教員による座談会を通じた、意識の分析と調査の準備
2. 小学校、中学校における、相互の連携を意識した授業の観察・調査
3. 小学校外国語活動についての小学校教員・中学校教員の意識調査・分析(試行)
4. 小学校外国語活動についての小学校教員・中学校教員の意識調査・分析(本調査)
5. 中学校教員の中学校1年生に対する入学時の英語力についての意識調査・分析
6. 優れた連携実践の条件についての調査
7. 実践例の映像資料の作成と分析

小学校教員意識本調査

調査対象

主に関東近郊の小学校教員1,138名(男性368名、女性760名、無解答10名)

調査方法

小学校教員意識施行調査結果(小泉他、2008)に基づいて調査用紙を改訂

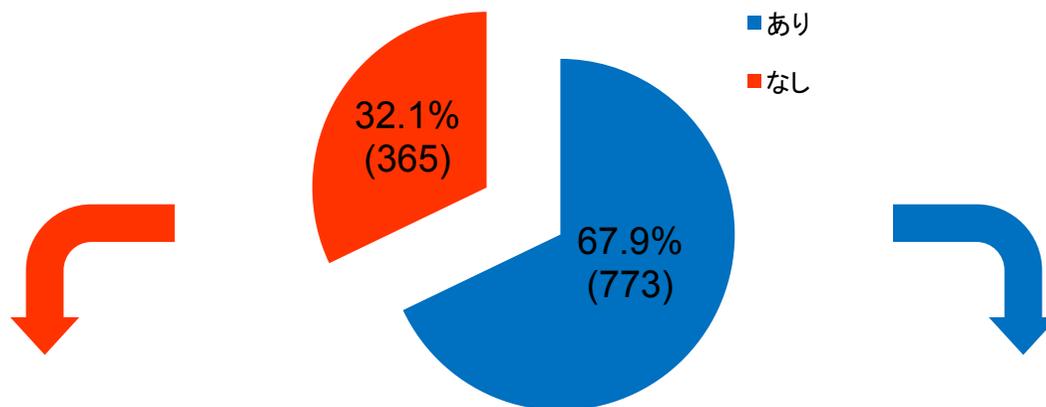
「研修経験の有無」および「小学校英語経験年数」で群分けした上で分析



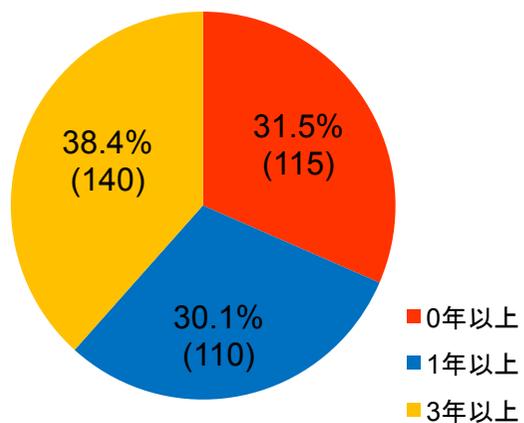
研修経験の有無および小学校英語経験年数による意識の相違

研修経験 × 経験年数

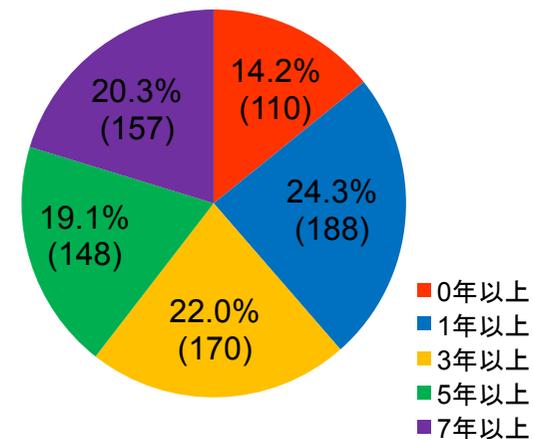
小学校英語研修経験



研修経験なし

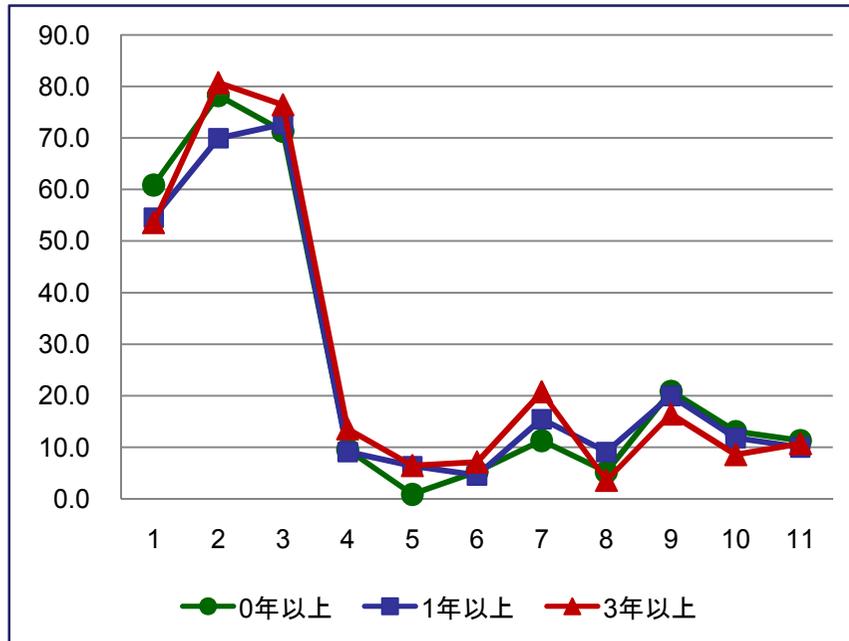


研修経験あり

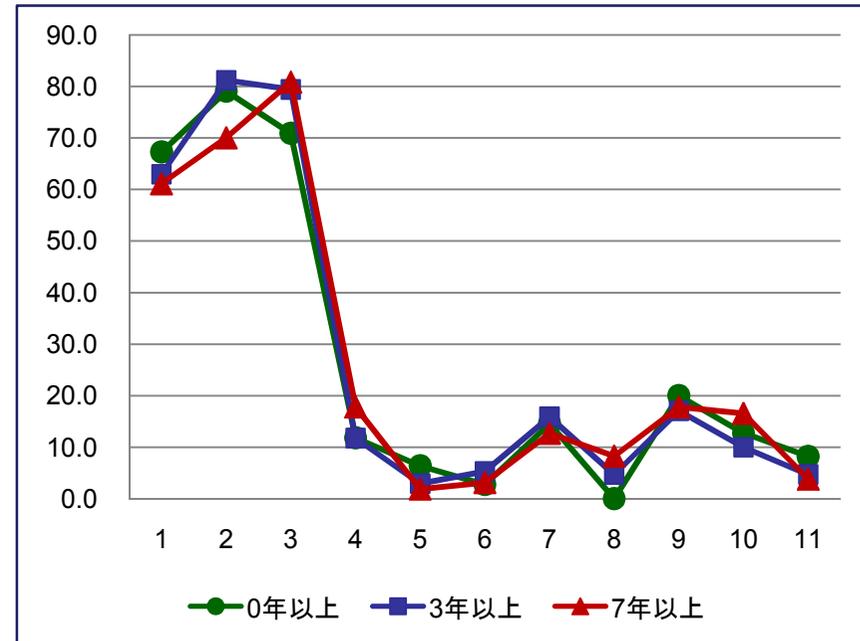


「小学校英語活動で行いたいこと」

研修なし



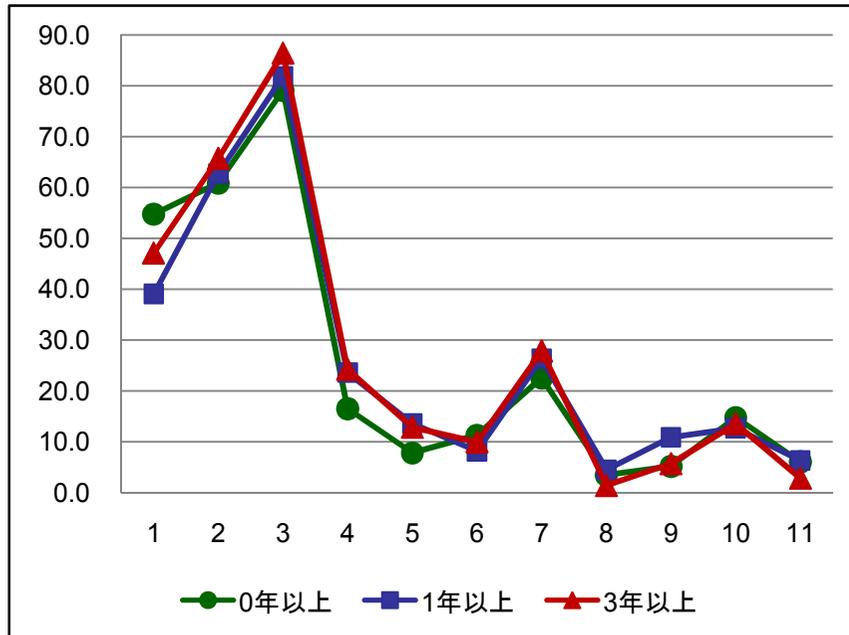
研修あり



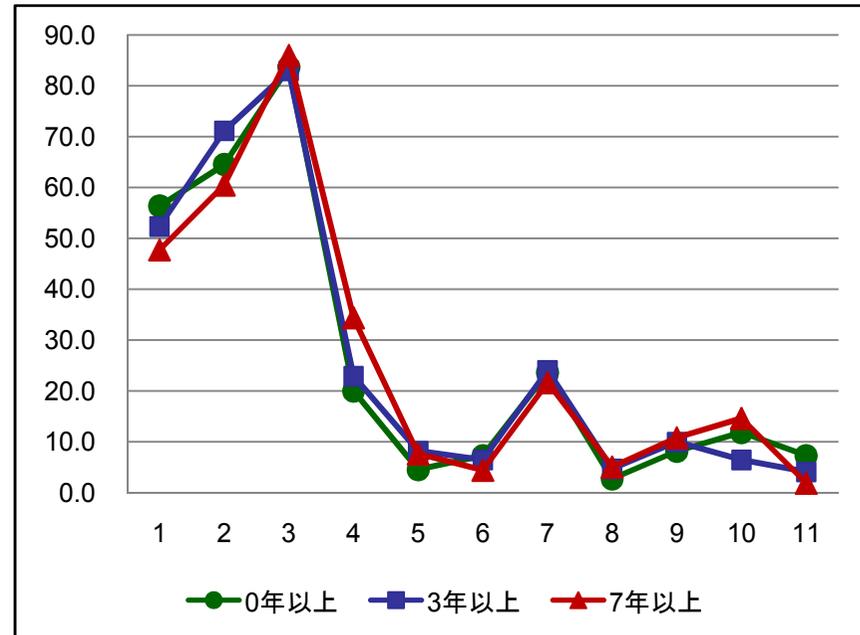
- 1 英語の歌 2 ゲーム活動 3 簡単な会話
 4 単語の発音 5 アルファベットの発音 6 アルファベットの識別
 7 基礎的な語彙 8 基礎的な文法 9 絵本の読み聞かせ
 10 簡単な教室英語 11 特にない

「小学校英語活動で行うべきこと」

研修なし



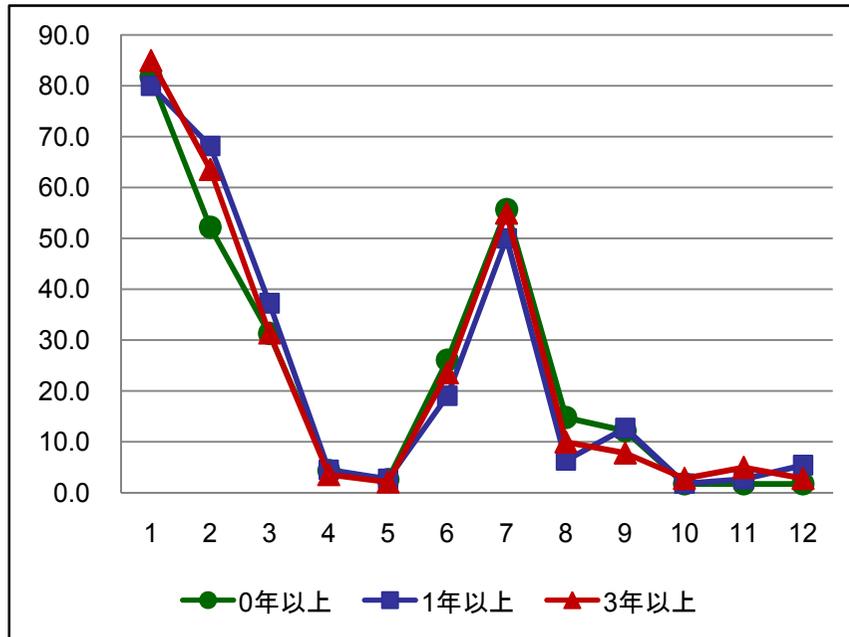
研修あり



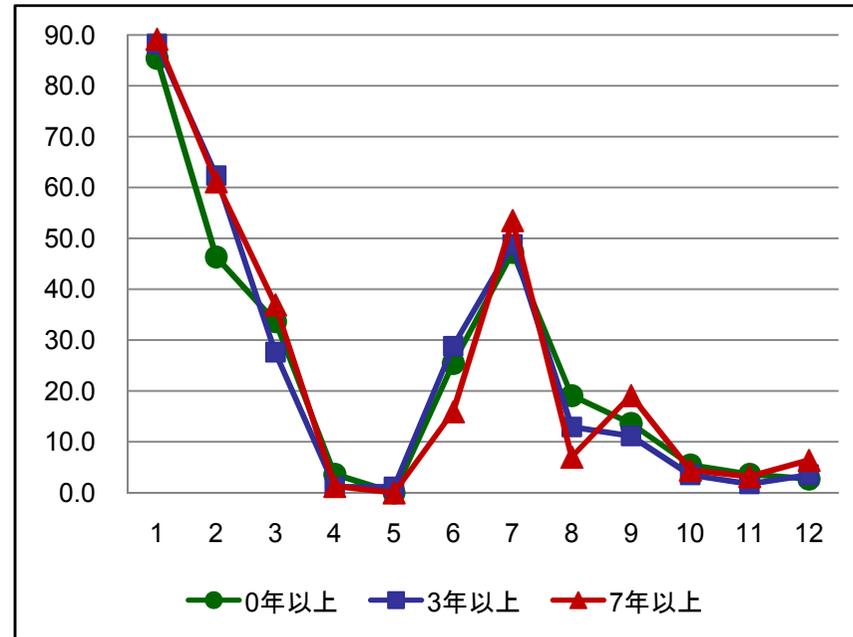
- 1 英語の歌 2 ゲーム活動 3 簡単な会話
 4 単語の発音 5 アルファベットの発音 6 アルファベットの識別
 7 基礎的な語彙 8 基礎的な文法 9 絵本の読み聞かせ
 10 簡単な教室英語 11 特にない

「小学校英語活動で育っている力」

研修なし



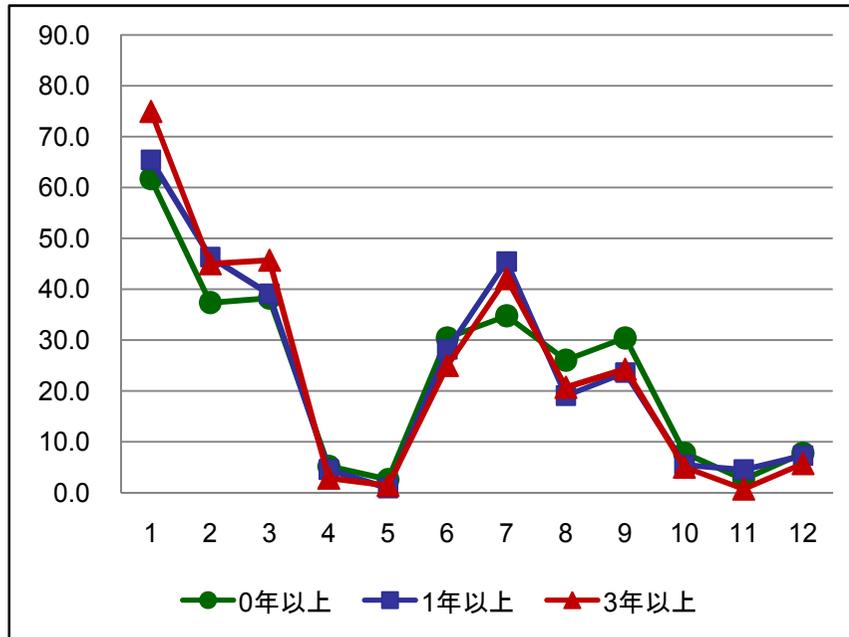
研修あり



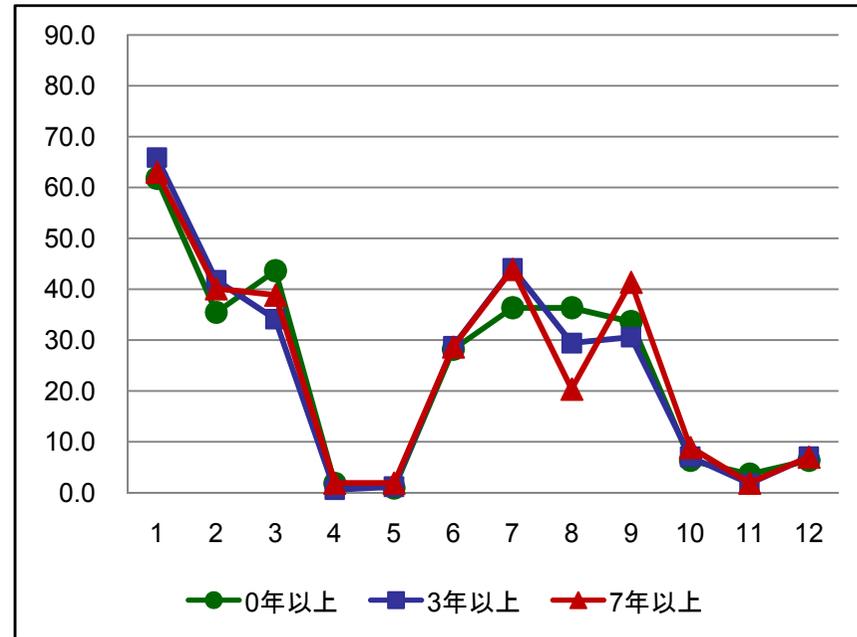
- 1 英語の音やリズムに慣れ親しむこと
- 2 英語を聞くこと
- 3 英語を話すこと
- 4 英語の語句を読むこと
- 5 英語の語句を書くこと
- 6 外国の文化や生活について知ること
- 7 外国の人と交流すること
- 8 言葉により円滑に人間関係を結ぶ姿勢
- 9 自己表現する意欲を養うこと
- 10 母語話者と向き合おうとする姿勢
- 11 先生の言うことを聞こうとする姿勢
- 12 進んで発表しようとする姿勢

「小学校英語活動で育てるべき力」

研修なし



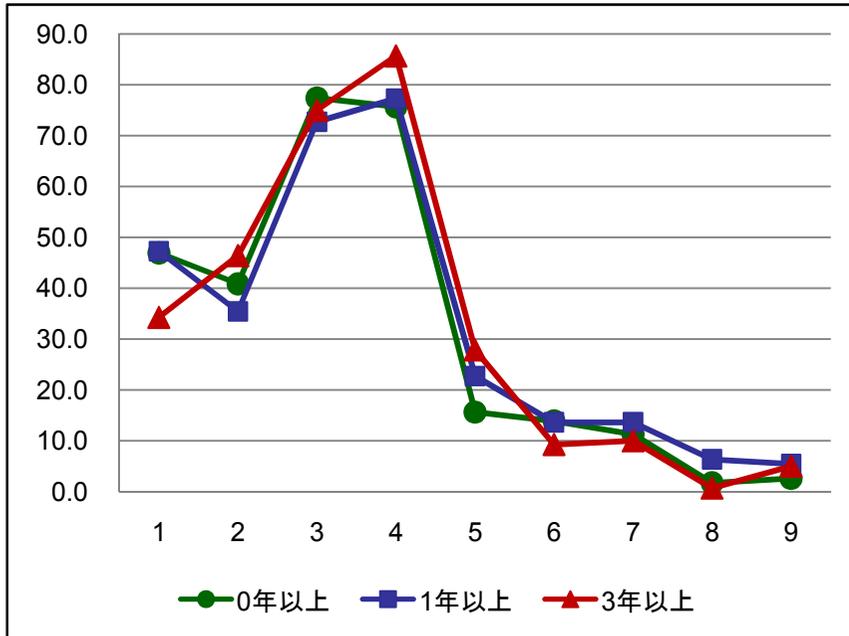
研修あり



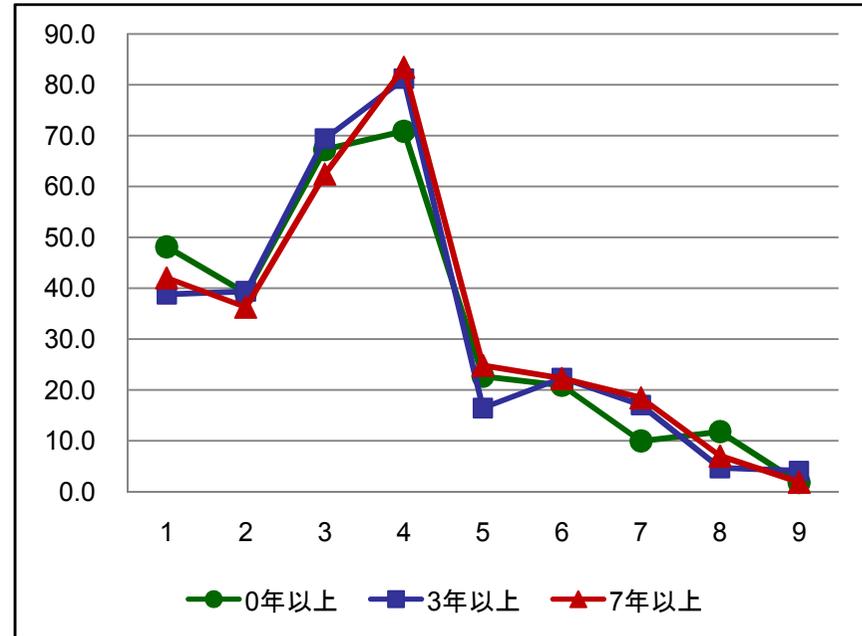
- 1 英語の音やリズムに慣れ親しむこと
- 2 英語を聞くこと
- 3 英語を話すこと
- 4 英語の語句を読むこと
- 5 英語の語句を書くこと
- 6 外国の文化や生活について知ること
- 7 外国の人と交流すること
- 8 言葉により円滑に人間関係を結ぶ姿勢
- 9 自己表現する意欲を養うこと
- 10 母語話者と向き合おうとする姿勢
- 11 先生の言うことを聞こうとする姿勢
- 12 進んで発表しようとする姿勢

「小学校英語教育の体制づくり」

研修なし



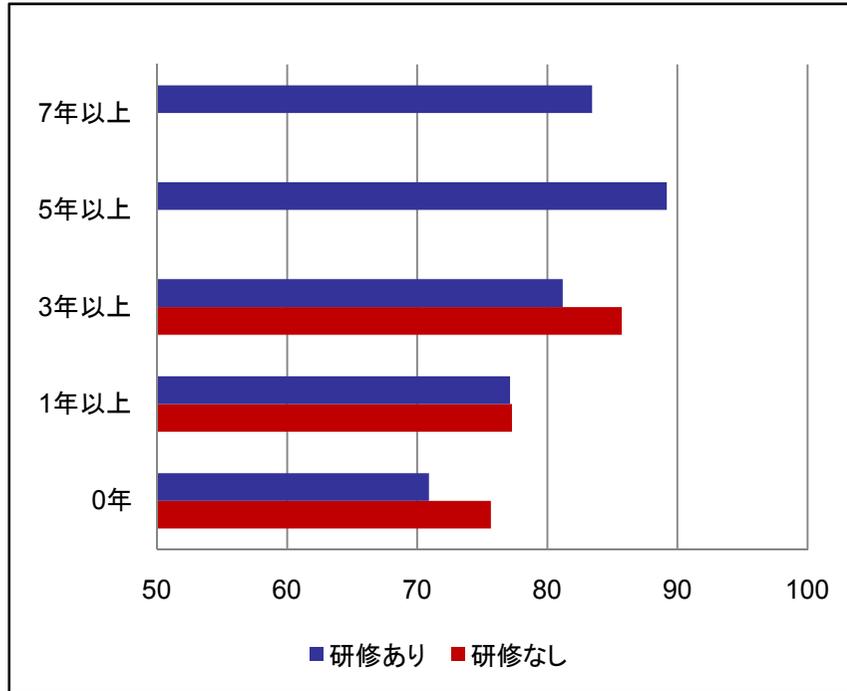
研修あり



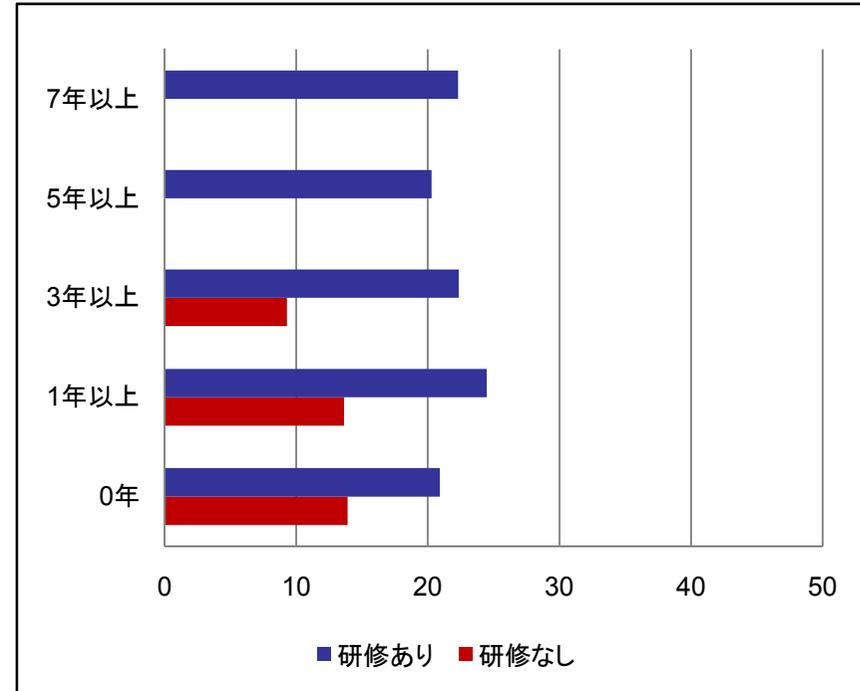
- 1 授業時間の確保
- 2 公的な教員研修
- 3 専科教員の配置
- 4 ALTの配置
- 5 統一教科書教材
- 6 小学校と中学校の連絡
- 7 校内推進体制の整備
- 8 相互の授業参観

「小学校英語教育の体制づくり」

ALTの配置



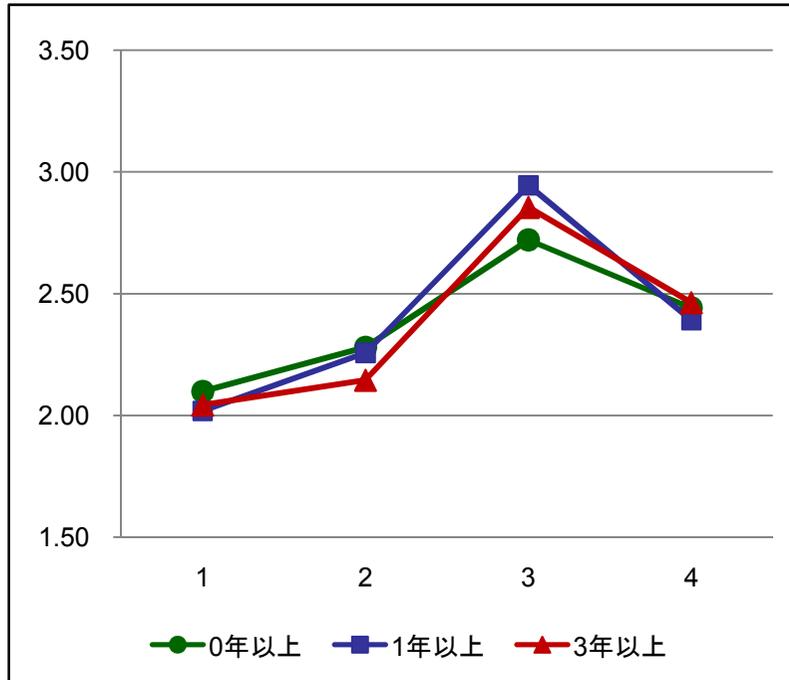
小学校と中学校の連絡



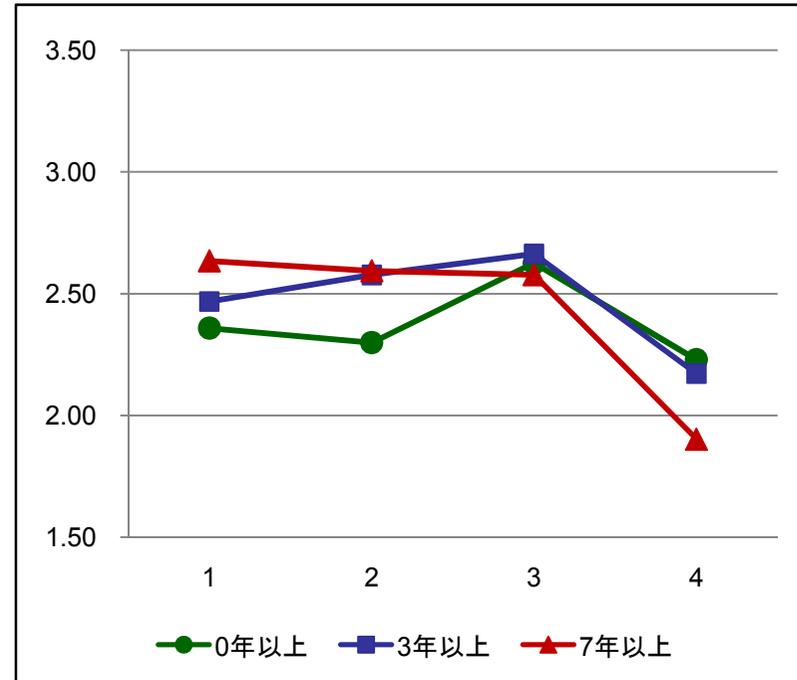
- 1 授業時間の確保
- 2 公的な教員研修
- 3 専科教員の配置
- 4 **ALTの配置**
- 5 統一教科書教材
- 7 校内推進体制の整備
- 6 **小学校と中学校の連絡**
- 8 相互の授業参観

「学級担任に求められる役割」

研修なし



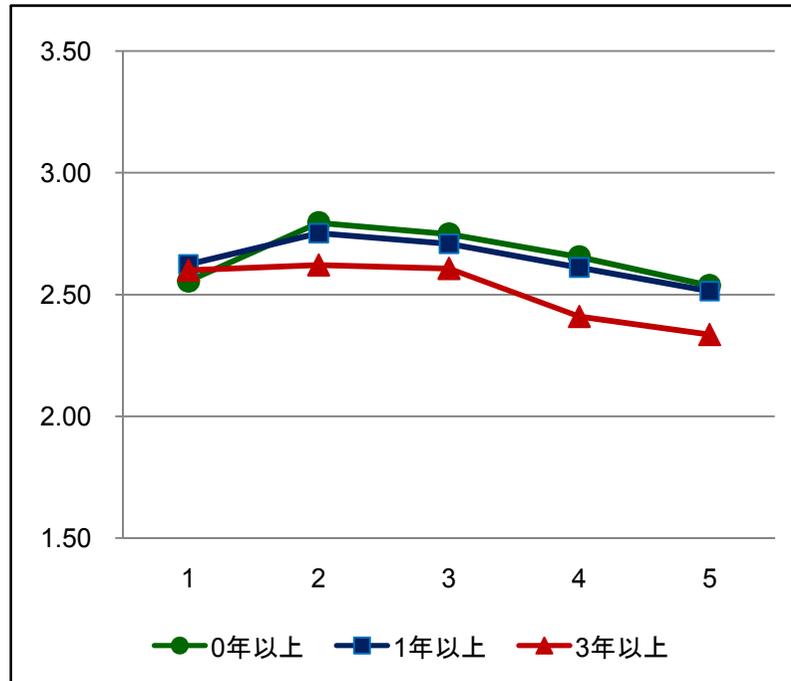
研修あり



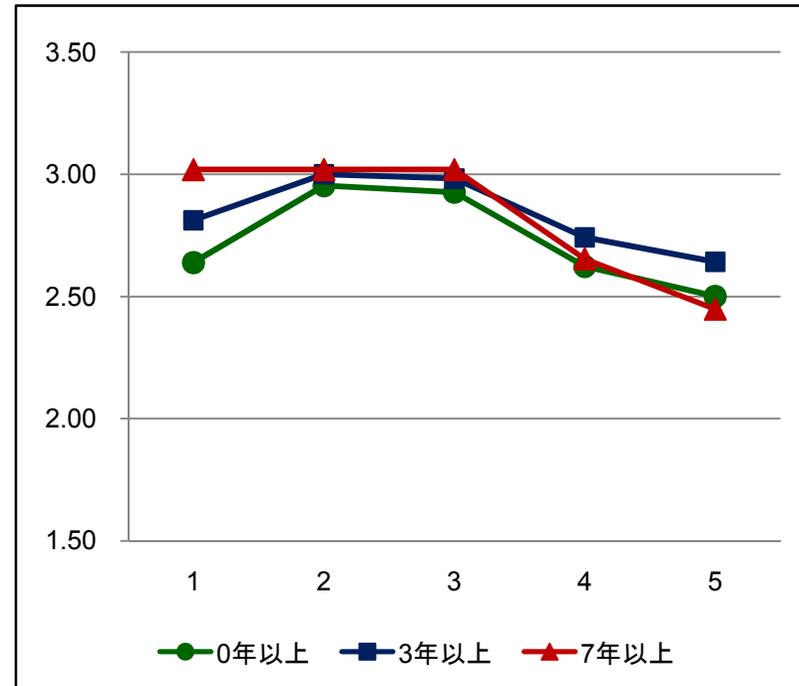
1. 英語授業の主たる指導者として
2. ALTや専科の英語教員と同等の立場で
3. ALTや専科の英語教員の助手としての立場で
4. 英語の教育には直接かわらず、児童の管理をする立場で

「小学校英語教員研修の在り方」

研修なし

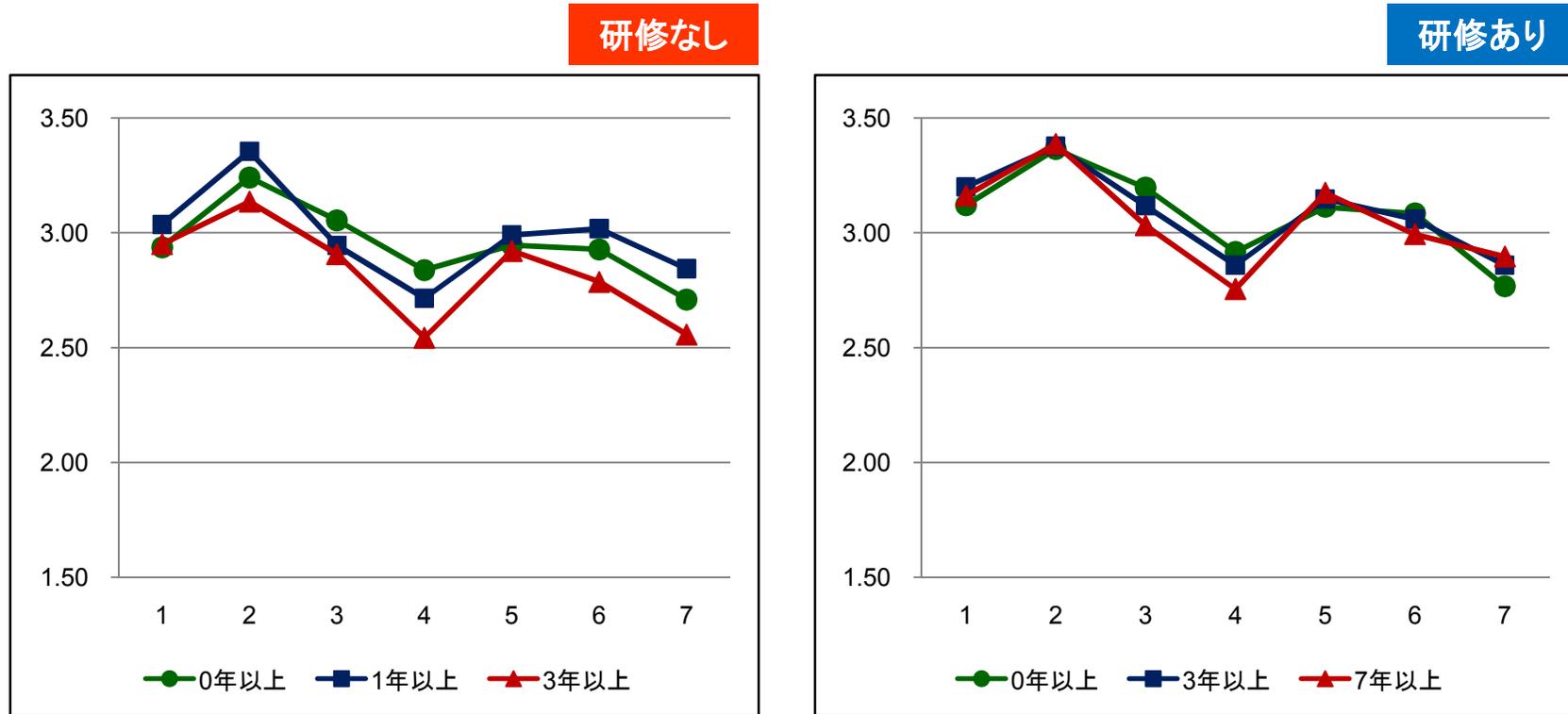


研修あり



1. 初任者研修に位置づける
2. 校内研修を充実する
3. 校外の研修(国、県、市町村など公的機関などの主催)に参加する
4. 校外の研修(民間団体や民間企業などが主催)に参加する
5. 校外の研修(近隣の大学が主催)に参加する

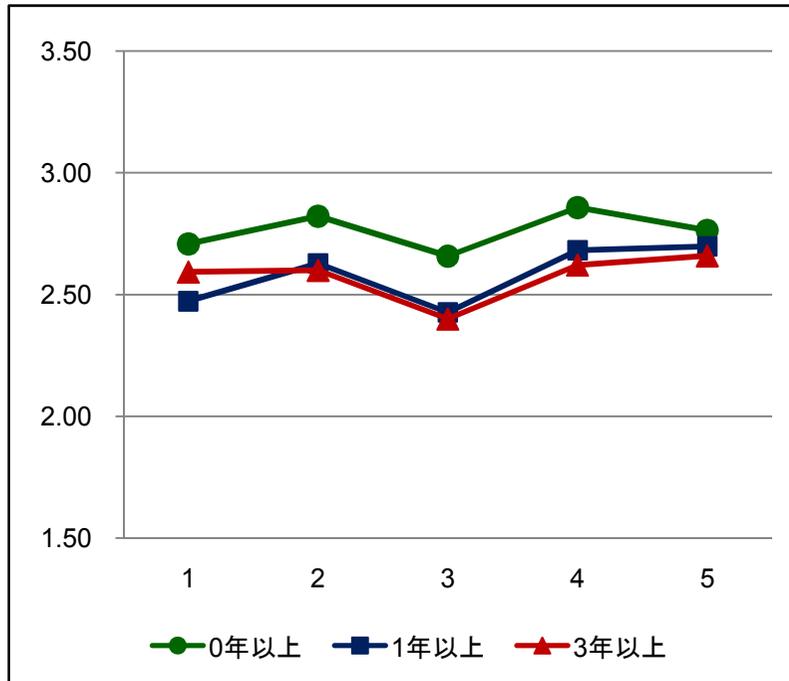
「小学校英語教員研修の内容」



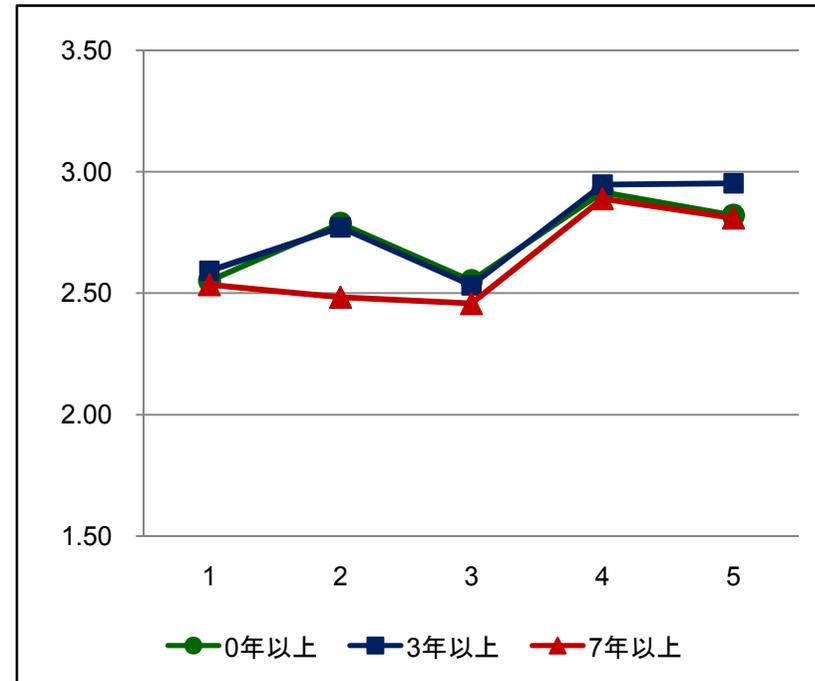
1. 英語力の向上
2. 指導技術・方法
3. 教材の選択・選定
4. 指導案・指導計画
5. ALTなどとのコミュニケーションの仕方
6. ティーム・ティーチングの方法
7. 評価の方法

「小中連携のための協力体制」

研修なし



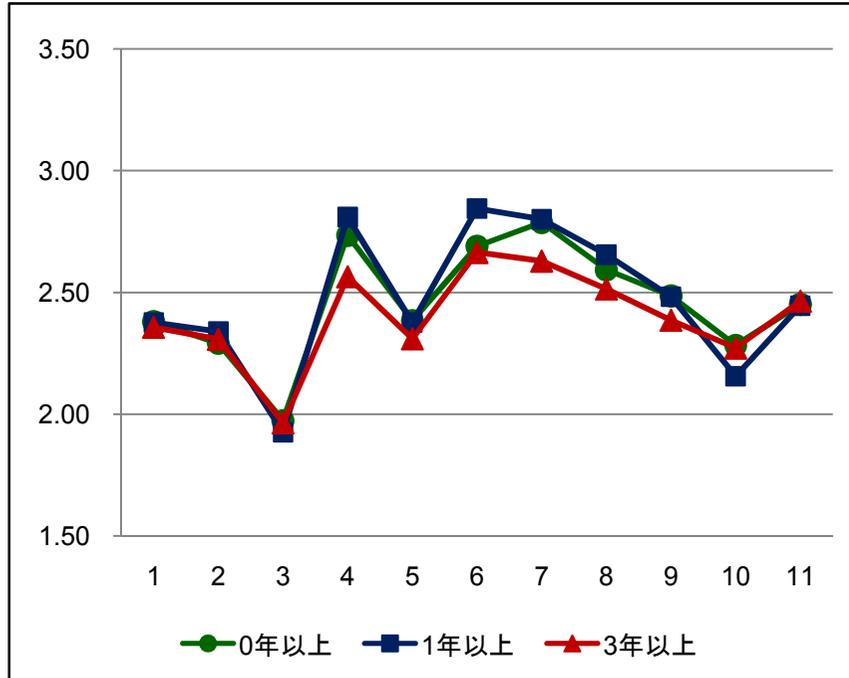
研修あり



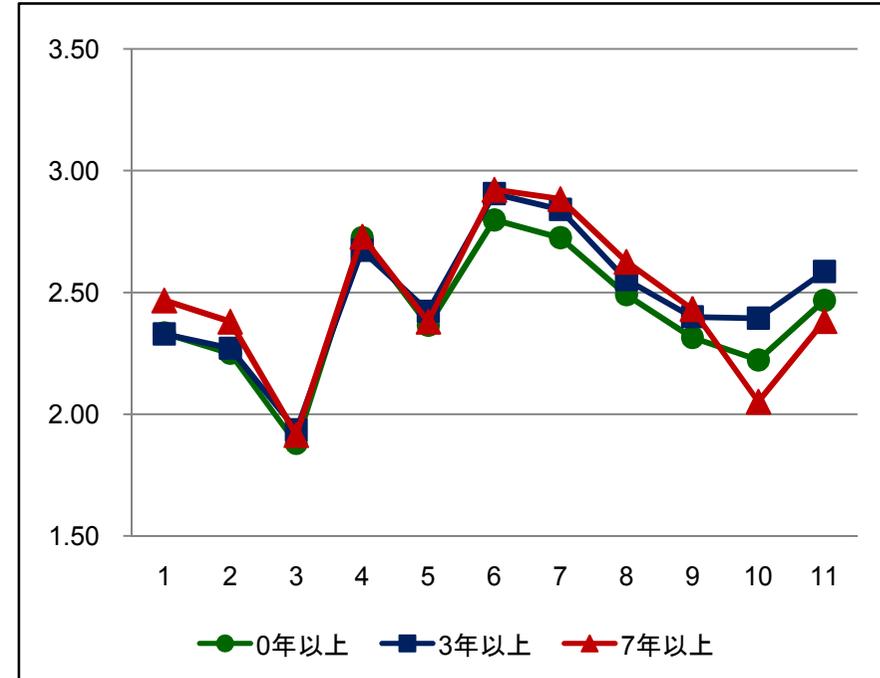
1. 同じ学区内で、中学校教員が小学校教員に、アドバイスをを行うこと
2. 中学校派遣のALTが、小学校も訪問し、アドバイスをを行うこと
3. 小学校から中学校にアドバイスを求めるシステムを作ること
4. 小学校の学習状況を中学校に申し送ること
5. 小学校と中学校との間で連絡会などを行うこと

「中学校への波及効果」

研修なし



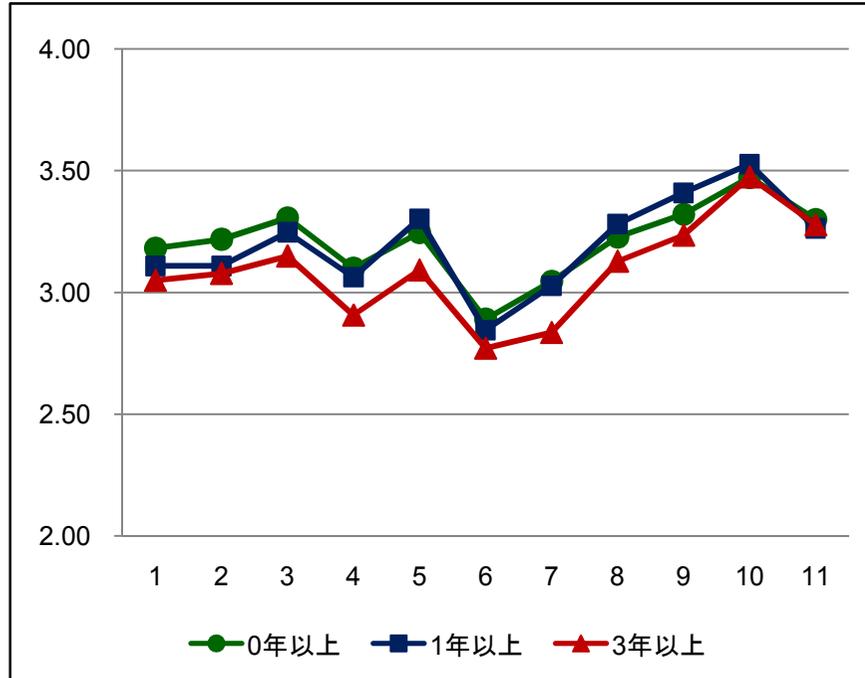
研修あり



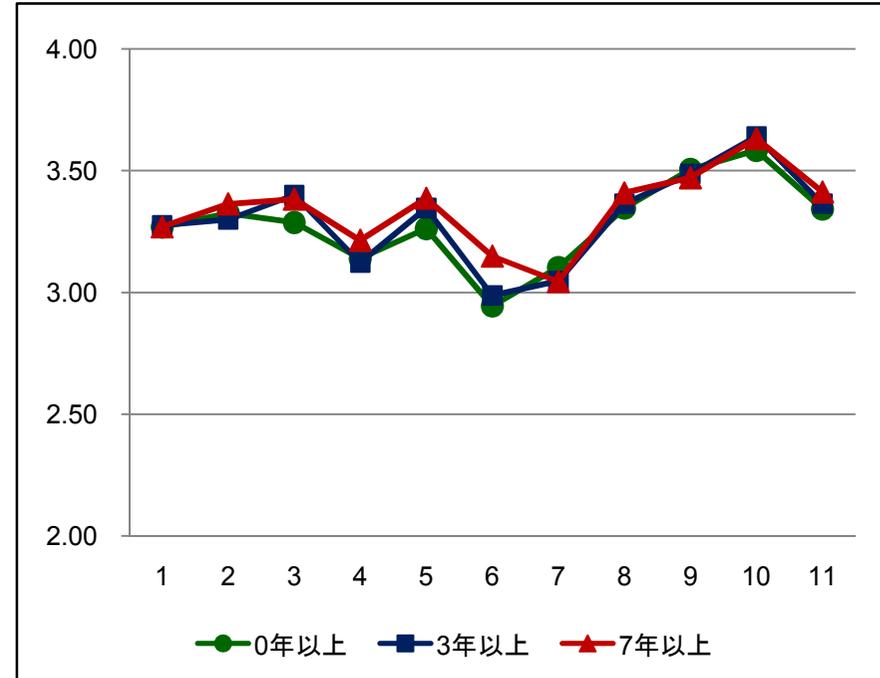
1. 最初から始める必要なく、時間にゆとり
2. ゆとりが出た分、これまでより深く
3. ゆとりが出た分、高校の内容まで
4. 関心・意欲が高まり、授業がしやすく
5. 英語で授業が多くできる
6. 英語で慣れているので、反応が早く
7. 聞く力がついたので、授業がしやすく
8. 話す力がついたので、授業がしやすく
9. 語彙力が豊かになって、読んだり書いたりする授業がしやすく
10. 既に学んでいるぶん新鮮味がなく、関心や意欲が少なく
11. 既に学習差が認められ、授業がしにくく

「小学校英語教育における課題」

研修なし



研修あり



- 1 教材の選定・入手 2 カリキュラムの作成 3 教育内容の明確化
- 4 指導者の英語運用力 5 指導者の指導技術 6 地域格差・学校格差の是正
- 7 授業時間数の確保 8 授業準備時間の確保
- 9 ALTや英語指導員等との打ち合わせ時間の確保
- 10 ALTや英語指導員等の人材の確保
- 11 小学校英語専科教員の制度化と養成

まとめと今後の展望

小学校英語教員研修経験の差が意識の違いへと影響を及ぼす



中学校教員を対象とした本調査で、小中教員間の意識の差を探る
特区などを含む全国の県教育委員会宛の郵送調査を実施し、研修の実態を探る



小中連携のあるべき姿とは？

連携に必要な研修のあり方は？

Thank You Very Much



小学校中学校英語教育連携研究会 (PETSET)
連絡先: mkoizumi@tokyo-kasei.ac.jp